

金山病院で行っている手術 広報げろ 2012.04

金山病院で行っている手術

手術の説明をするとき「ここでできますか」と問われることがあります。そこで今回は金山病院で行っている手術の話です。

◎手術の麻酔

手術には麻酔が必要ですが、手術ができる外科医は一般的な麻酔ができるのが常識です。そのうえで、金山病院には麻酔医が常駐していますので、手術はより安全に行えます。

◎癌の手術

当院では胃がん、大腸がん、乳がんなどの標準的な手術を行っています。それは、がんの治療は住んでいるところの近くで行うのが地域に住む人を支えることになるという方針とともに、がんの手術をしない病院には医師は来ないという現実があるからです。また金山病院は救急病院ですが、救急救命にはがんの手術を行うための技量が必要です。

◎抗がん剤治療

がんの治療では手術とともに抗がん剤治療は欠かせません。当院の外科医は岐阜大学の腫瘍外科から派遣されており抗がん剤療法にも力を入れています。一泊入院や日帰りによる治療を行っています。抗がん剤療法のために遠くの病院に通うのも大変です。当院では専門病院とも連携しその指示に従った治療も行い患者の便宜を図っています。

◎腹腔鏡手術

当院では腹腔鏡を使って胆のう切除術などを行っています。腹壁を切り開くことなく小さな穴から内視鏡や手術器具をおなかに挿入して手術を行うので、術後の痛みが軽く数日間の入院で済み、大変体に負担の少ない手術です。

◎痔核の無痛手術

当院では消化器外科専門医が痔核の無痛手術を行っており術後の痛みもほとんどなくて入院期間も数日と少なく好評を得ています。お悩みの方は当院外科にご相談ください。

◎腸閉そくや虫垂炎、腹部外傷などの緊急手術

これらの治療を行うことで救急病院の使命を果たしています。

◎骨折の手術

脚の付け根の骨折（大腿骨頸部骨折）は老人の転倒事故でよく見られます。当院では大学病院の整形外科専門医が骨折の手術を行っています。整形外科専門医常駐は困難ですが手術には必ず医師の派遣を得られる体制ができています。

◎ヘルニア（脱腸）の手術

現在のヘルニアの手術は痛みや腹壁の緊張も少ない術式で数日間の入院で済みます。

◎日帰り小手術、組織診（生検）、細胞診

乳腺腫瘍、皮膚腫瘍などの切除術、病理組織検査のための生検、針を刺して行う組織診や細胞診なども積極的に行い、近くの病院で行うことの便利さを地域に提供できるよう努力しています。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦